

デジタルリテラシー 向上講座 前期

参加無料
定員20名

受講期間：令和5年7月14日～8月14日
※後期プログラムは同一内容にて8～9月頃に開催予定
※応募方法等の詳細は裏面に記載

～デジタル技術を用いた生産性向上や新たな価値創出に向けて～

- 1 デジタルリテラシーとは、「デジタルについて基本的な知識やスキルを身につけ、適切に理解・活用できる能力」を意味します。
- 2 本講座では、ビジネスの場において、デジタルトランスフォーメーション（DX）を推進するための土台となるデジタルについての基礎知識や考え方を学びます。
- 3 講義は、効率的・効果的に学びを進められるよう「e-Learning」とe-Learningの内容の内、特に重要なポイントの振り返りと定着を目的とした「集合講座（ワークショップ含む）」を組み合わせたカリキュラムとなります。

「DXリテラシー標準」（経済産業省と独立行政法人情報処理推進機構（IPA）より2022年3月29日公表）：
全てのビジネスパーソンが身につけるべき能力・スキルの標準

1～8：e-Learning講座

※カリキュラムは変更となる可能性があります。

DXリテラシー標準

Why DXの背景

- ✓ DXの重要性を理解するために必要な、社会、顧客・ユーザー、競争環境の変化に関する知識を定義
 - 社会の変化、顧客価値の変化、競争環境の変化

2

What DXで活用されるデータ・技術

- ✓ ビジネスの場で活用されているデータやデジタル技術に関する知識を定義
 - データ活用：社会におけるデータ、データを読む／説明する、データを扱う、データによって判断する
 - 技術：AI、クラウド、ハードウェア・ソフトウェア、ネットワーク

1 2 3

How データ・技術の活用

- ✓ ビジネスの場でデータやデジタル技術を活用する方法や留意点に関する知識を定義
 - 活用方法・事例
 - 留意点：セキュリティ、モラル、コンプライアンス

2 4 5 7

マインド・スタンス

- ✓ 社会変化の中で新たな価値を生み出すために必要な意識・姿勢・行動を定義
 - デザイン思考／アジャイルな働き方：顧客・ユーザーへの共感、常識にとられない発想、反復的なアプローチ
 - 基礎的なマインド：変化への適応、コラボレーション、柔軟な意思決定、事実に基づく判断

6 8 集合

講座	時間	講座概要
1 ICT基礎	15分	ICTとは何か、ICTの歴史、クラウドとオンプレミスの違い、AI/IoT/5G等のデジタルトレンド・技術を事例を通して学ぶ
2 DX基礎	50分	DXの定義や必要性を理解した上で、産業別のプロセスのDX化について事例を確認し、人・働き方に着目したスマートワークを学ぶ
3 データリテラシー基礎	約30分	経営や業務の意思決定に必要なデータを読む／説明する／扱う術を学ぶ
4 情報セキュリティ基礎	約20分	情報セキュリティの概念やDXを計画するうえで知っておきたい基礎知識について学ぶ
5 デジタルガバナンス基礎	約60分	デジタル技術やデータを活用するうえで必要なモラルや規定された法律・ガイドライン等のガバナンスの基礎について学ぶ
6 デザイン思考基礎	40分	顧客・ユーザーを起点とした行動・姿勢を具体的にイメージするために、カスタマージャーニー、SWOT等の課題設定・デザイン思考の手法や実践のための考え方を学ぶ
7 BPR基礎	50分	具体的な活用方法のうち、業務改革実現についてイメージを抱けるよう、BPR手法を学ぶ
8 アジャイル基礎	55分	「アジャイル」な行動・姿勢・働き方を具体的にイメージするために、アジャイルな働き方の必要性、組織的に定着させるためのアプローチや、業務をアジャイルに進めるための手順・具体手法を学ぶ
集合 まとめ講座	180分	e-Learningを通して学んだ内容を総括し、特に重要となるポイントの振り返りと定着を目的とし、ワークショップ形式で行う

講座開催スケジュール

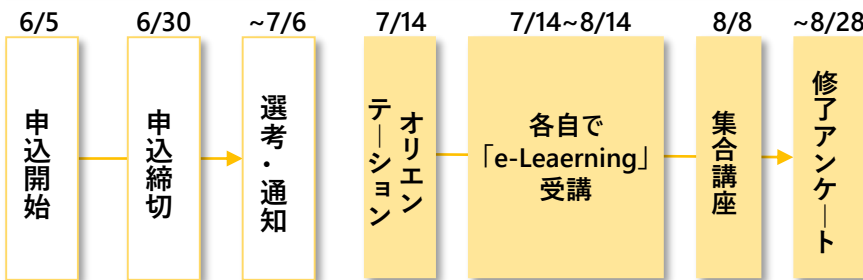


令和5年6月~7月

令和5年7月~8月

受講者募集・選考

講座受講



※日程は変更となる可能性があります。

回	日時	会場
オリエンテーション	7月14日(金) 13:30~14:30	オンライン開催 (ZOOM)
集合講座	8月8日(火) 13:00~16:00	アクエル前橋6F セミナールーム

オリエンテーションでは下記内容を予定しています。

- ・ 受講者の自己紹介
- ・ 講座の進め方
- ・ 質疑応答

受講者の募集について

受講者イメージ

- ▶ 本講座で目指すDXリテラシー標準（前掲）レベル習得に向けて取り組もうと考えている方
 - ・ デジタル技術活用による対顧客ビジネスの改善や業務効率化を求められている一般社員～管理職相当の方
 - ・ デジタル化についての理解を深めたい一般社員～管理職相当の方
 - ・ 「リスクリングの必要性を感じている」「DX推進人材へ向けた一歩を踏み出したい」「IT知識について一通りおさらいをしたい」といった志向をお持ちの方

募集対象

- ①群馬県内に本社又は主たる事業拠点を有する企業にお勤めの方（在職者）
- ②群馬県内に居住し、現在、求職活動中の方（求職者）

募集定員

20名

※応募人数が定員を上回った場合は、「エントリーシート」の記載内容等を踏まえ受講者を選定いたします。予めご了承ください。

募集期間

令和5年6月5日（月）から令和5年6月30日（金）

参加費

無料

※集合講座で使用するテキスト等は無料配布します。（e-Learning講座資料の配布はありません）
※講座実施会場への交通費（駐車場代含む）やe-Learning受講のための通信費等は自己負担となります。

ご準備いただく物

e-Learning受講のためのPC（集合講座の際にもPCを使用する場合がございます）

応募にあたっての留意事項

- ・ 同一事業者から複数名でお申込みいただくことも可能ですが、定員を上回った場合には、主催者である群馬県と事務局で、厳正なる審査の上、受講者を決定します
- ・ 原則として、受講期間中全ての講義に参加が可能であること。（なお、オリエンテーションの参加は任意です）
- ・ 「エントリーシート」の記入フォームに記載の遵守事項に同意いただきます。
- ・ e-Learningの所要時間はあくまでも目安であり、受講者のご経験や事前知識等により前後する場合がございます。

応募方法

以下のURLもしくはQRコードにアクセスし、「エントリーシート」にご記入の上、お申込みください

<https://forms.office.com/e/Udarcu9A0S>



【問い合わせ先（運営受託者）】

〒370-0841高崎市栄町16-11 高崎イースタワー

有限責任監査法人トーマツ 高崎連絡事務所 「令和5年度 DX人材育成プログラム」事務局 担当：佐藤、高橋、梶

Mail : gunma_dxjinzai@tohatsu.co.jp TEL : 080-4053-7946

※この事業は群馬県より委託を受け、有限責任監査法人トーマツが運営しています。